

Dual Dream ―二つの夢― G.S.カビール・渡邊早苗 展

2026年7月28日(火)～8月2日(日)
一般展示室 4

自らの内面や社会的テーマを、抽象的な形で表現したバングラデシュの画家G.S.カビール(1960-2023)、日記をつけるように日々の思いを描く渡邊早苗、の二人の絵画作品を展示します。Dual Dream―二つの夢―をご覧ください。



G.S.KABIR (G.S.カビール)「Quest of Happiness」

2026CAF ネビュラ展

2026年10月21日(水)～11月1日(日)
一般展示室 1～4

CAF.NIは、1987年に「埼玉美術の祭典」としてスタートし、埼玉県立近代美術館を拠点に活動を続け、呼称を変更しながら現在に至ります。絵画などの平面、立体、インスタレーションなど多様な作品80点余りを展示します。



前回の会場風景

第62回全展

2026年8月25日(火)～8月30日(日)
一般展示室 2～3

第62回全展が8/25～8/30開催されます。昨年は地元のスター、さくまひできさんが絵本原画をご出品頂き好評でした。全国公募展ですので貴方も出品出来ます。「全日本美術協会」で検索願います。宜しく。

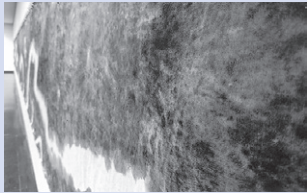


地元のスター、さくまひできさんを囲んで

ヨシズミトシオ個展 ありあるクリエーションズ 藝術企画

2026年10月6日(火)～10月18日(日)
一般展示室 4

新・近作の油彩画、水墨画、銅版画、表現の可能性の展示。海外で開催されました国際トリエンナーレの受賞作品も併せて発表いたします。御高覧戴けましたら幸いです。



以前の会場風景

西村紀子 自選展

2026年10月6日(火)～10月11日(日)
一般展示室 3

継続は力なり、の言葉を胸に約40年以上異国の風景・文化に触れて描いてきた。そしてコロナ後は私の新しいスタート地点になった。著しく変化するビル群や郊外の風景に描く喜び、生きる喜びを感じ、表現していきたい。



「白い街、Tokyo」西村紀子

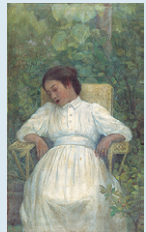


表紙解説：森田恒友の人と作品 Spot Light

表紙作品

《午睡する看護婦》

1907（明治40）年
油彩、カンヴァス
114.0×67.4cm
埼玉県立近代美術館蔵



森田 恒友 (もりたつねとも)

1881（明治14）―1933（昭和8）
埼玉県大里郡玉井村（現在の熊谷市）出身。小山正太郎の画塾・不同舎に学んだ後、東京美術学校を卒業。1907年に石井柏亭、山本鼎と雑誌『方寸』を創刊。1914年に渡欧、セザンヌの作風に共感する。翌年帰国。1922年には春陽会の創立に参加した。洋画家として出発するが、帰国後は水墨画に制作の主軸を移し、武蔵野や水郷の自然を詩趣あふれる筆致で描いた。雑誌の挿絵や書籍の装幀も多く手がける。

森の中で、ひとりの女性が椅子の背もたれに身体を預け、気持ち良さそうに昼寝をしています。女性を包み込むように生い茂る草木が、緑色の濃淡を重ねて繊細かつ柔らかに描き出され、その場の空気感までも伝わってくるようです。
1902年、東京美術学校西洋画科選科に入学した森田は、同窓の山本鼎や太平洋画会研究所で出会った小杉未醒らと親交を結ぶ一方で、先輩の青木繁に大きな刺激を受けることとなります。美術学校を卒業すると、青木の影響による象徴主義的な作風から次第に脱し、ロマン主義を基調とした柔らかな色彩と筆致が特徴的な絵画へと移行していきます。《午睡する看護婦》は、まさにこの移行期にあたる作品で、明るく穏やかな色調で外光の下的人物と草木が捉えられています。森田は生涯を通して自然を真摯に見つめ、日本画・西洋画のジャンルを問わず多数の風景画を残しました。本作からは、光の動きを観察しながら自然と向き合う若き日の恒友の姿が浮かび上がります。

賛助会員名簿／私たちは美術館を応援しています

(2026年4月現在)

■特別賛助会員

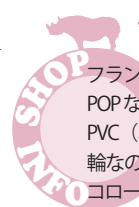
(株)埼玉りそな銀行	日本畜産興業(株)	(一社)メガソーラー機構
(株)武蔵野銀行	(株)エフエムナックファイブ	埼玉画廊
(株)アライ設計	松田産業(株)	(株)神住建
丸沼芸術の森	(株)万世	(株)明成ミューゼ・ビストロ・ヤマ
(株)テレビ埼玉	(株)ガロ	浦和興産(株)
税理士法人さかえ会計	(有)上州屋リビング	Karorino (株)
斎藤工業(株)	(株)ハーベス	埼玉工業(株)
日本自動機工(株)	(株)ホソカワコーポレーション	(株)田中工務店
AGS (株)	損害保険ジャパン(株)	(株)島村工業
むさし証券(株)	埼玉東和薬品(株)	武蔵コーポレーション(株)
(株)しまむら	服部地質調査(株)	(株)ビーアンドディコンサルティング
(株)デサン	学校法人鳥海学園	ライオンフーズ(株)
ボーライト(株)	(一財)さいたま住宅検査センター	(株)アミューズ
ジェイアンドエス保険サービス(株)	(株)日さく	太成倉庫(株)

■法人賛助会員

(株)ART SPACE 717	アオイ土地建物(株)	海游舎
(株)ガスワンホールディングス	(有)ギャラリー藤井	(株)コア
埼玉書道三十人展実行委員会	CAF.N 協会	(一社)新構造社 埼玉支部
ZEN展	全日本美術協会	東京ワークス
二科埼玉支部	見沼100年構想の会	領家手づくり絵本の会
凜の会		

■個人賛助会員

石原 京子	一瀬 謙輔	岡田 謙司	岡部 美代子	加藤 正宏	小松 弥生
小森 光子	清水 武司	鈴木 千賀子	高崎 考一	滝沢 悟	滝沢 布沙
戸所 邦弘	根岸 洋之	野口 真理	野村 純一	廣澤 公太郎	本田 真有
丸山 晃	むかい 春起	横尾 嘉子			



fam.s museum shop 便り

フランス人デザイナーのサミュエル・コローによるPOPなジュエリーをご紹介します。
PVC（ポリ塩化ビニル）チューブでできたこちら、指輪なのです。

コローは元々映像作家として東京と京都に滞在歴があり、日本文化、特に書道からインスピレーションを受けて制作しているそうです。作品の3つの軸は「動き」「色」「量」で、同じ形がなく一期一会のデザインです。つけてみると思いのほか馴染みます。汗ばむ季節に気軽に身につけられるアートではないでしょうか？

ポリ塩化ビニル製 φ 3.5 cm
フリーサイズ ポーチ付 フランス製
4,950円（税込み）



About fam.s

fam.s（ファミス）とは

埼玉県立近代美術館フレンド（friends of art museum,saitama）の愛称です。fam.s会員は、会員期間内の企画展・常設展を何度でも観覧できます。会員限定のギャラリートークやイベントのお知らせ、ショップなどの優待もあります。入会は随時受け付けています。詳しくはフレンド事務局までお問い合わせください。



HPIはこちらから▶

ファミス通信 第55号 2026年6月発行
広報委員◆安藤恭子／野口恵子／森幹枝
紙面デザイン◆木村昭司
発行者◆埼玉県立近代美術館フレンド事務局
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1 埼玉県立近代美術館内
tel 048(824)0111 fax 048(824)0119

※ファミス通信は年2回、6月と12月に発行しています。





中棟全景

公益財団法人遠山記念館は、田園風景の中に建つ邸宅と庭園の美術館です。埼玉県立近代美術館では2009年夏に『長澤英俊展オーロラの向かう所』を、2016年夏に『竹岡雄二 台座から空間へ』の企画展を同時開催し反響を呼びました。また公益財団事業として学術研究の面でも助成・支援されています。遠山邸は微に入り細を穿つ魅力にあふれ、庭園も美しく、美術館も併設されています。事務局長でもある新井久代学芸員にお話を伺いました。

◆遠山記念館の由来など教えてください

もとは、ここ川島町出身の旧日興証券（現SMBC日興証券）の創設者遠山元一が苦労した母美以の安住の住まいとして建てた邸宅です。設計は建築家室岡惲七、大工棟梁中村清次郎のもと、昭和8年より2年7か月をかけて昭和11年4月に竣工しました。延べ35,000人が携わったそうです。理想の住まいを目指した元一の弟・芳雄が指揮を執り、全国から銘木を集め、選りすぐりの職人がその技を競うように出し切って、外観から襖の引手まで大変凝ったものになりました。その後、遠山邸の保存、収集した美術品の一般公開を目的に1970年（昭和45）に開館。2018年（平成30）には、多様で吟味された良材と卓越した建築技術が駆使された意匠的に優秀な近代和風建築として、国の重要文化財に指定されました。



〈昭和33年 69歳の時〉

遠山元一（とおやまげんいち）（1890-1972）
豪農に生まれるも家が没落、母と離れて暮らす
功業を遂げ生家の土地を買い戻し実家を再建した



〈昭和15年 元旦に〉

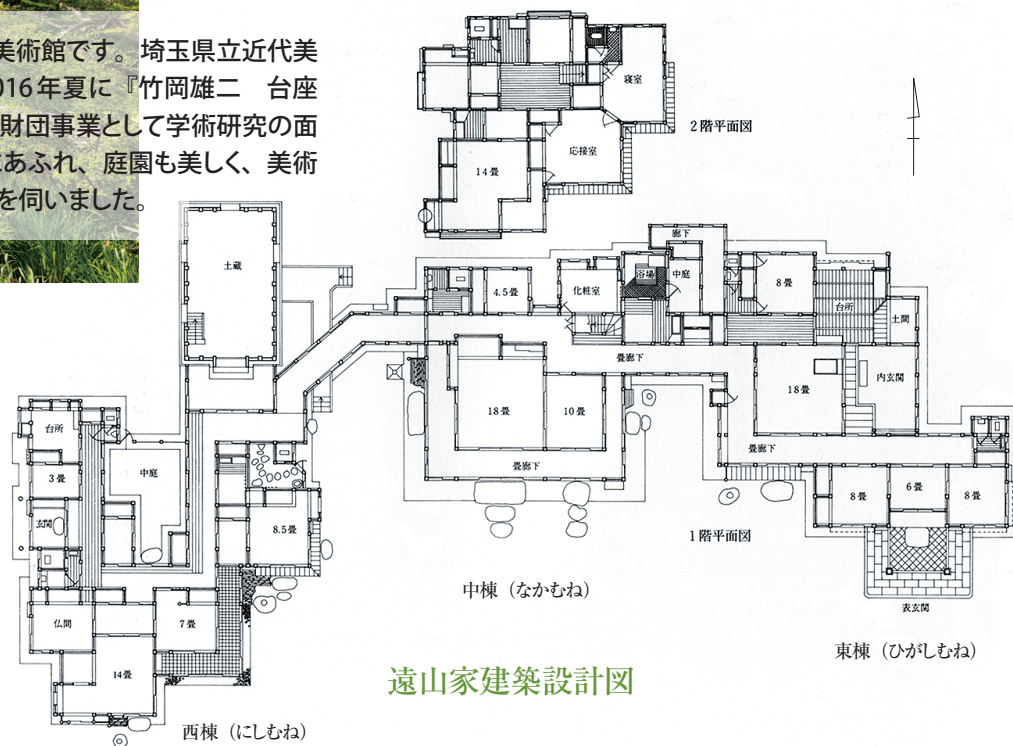
母・美以（みい）（1867-1948）
昼は小学校の先生、夜は裁縫を教
えて生計を立てる
近隣の人からも頼りにされた



長澤英俊作品《浮島》2009年

変調する昭和初期の邸宅に遊ぶ

—遠山記念館を訪ねて—



遠山家建築設計図



中庭から見た遠山邸東棟と中棟の外観

◆内部を歩くと雰囲気が変わってきますね

東棟、中棟、西棟の三棟を渡り廊下で繋ぐ構造になっています。東棟は復興の象徴として豪農の家の趣。囲炉裏のある18畳の居間には斜めに敷かれた坊主畳が2畳あって、それが川島町出身の長澤英俊さんのアート作品《浮島》（2009年）です。中棟はお客様の接待も兼ねた書院造りで、毎年雛人形や端午の節句飾りを展示、庭に面した畳廊下では吉田茂元総理と囲碁に興じたとも聞いています。西棟は美以さんの住まいで仏間や茶室もある京風数寄屋造りになっています。地元の人が気軽に訪ねて来られるよう専用の玄関を設けたり、床高を調節するため渡り廊下を緩やかなスロープにしたり、安心して過ごせる心遣いが見られます。

◆庭園も訪問客の楽しみです

庭の広さは約2,800平米。回遊式の日本庭園で、四季折々の風情が楽しめるように植栽や石組みに工夫がされています。中心には正真木となる羅漢榎（らかんまき）が植えられ、大広間から見えるようになっています。

◆貴館では収蔵品を中心にテーマ展が年3〜4回開催されていて幅広い分野からの展示が目を引きます。収蔵品11,000点のうち7割が染織品と多いわけは？

邸宅の床飾りの書画工芸から蒐集を始めて、昭和40年代になってエジプトのキリスト教徒の染織品の話があり、プロテスタントであった元一の見識にない、4,800点を収集しました。その後、世界各地の失われつつある伝統的染織品が加わっていきます。

◆投扇興や茶会なども催されていますね

他館にない特徴として邸宅・庭園があるので、その佇まいを生かしています。投扇興は、雛人形の道具の中にあつて、たぶん遊んでいたでしょう、箱に細かい傷があり何だろうと調べると、日本投扇興連盟に行き当たりました。的をめがけ扇を投げて箱に当たると1点とかいう遊びなのですが、現在はボランティアの方々の協力のもと、月に一度「投扇興を楽しむ会」を開催し、来館者の方々に遊び方をご紹介します。大広間での講演会、民族楽器の演奏会、蓄音機コンサート、茶室でのお茶会などにはコアなファンの方々が来館されました。部屋の貸し出しも可能です。

中棟の畳廊下にて投扇興で遊ぶ
（投扇興は江戸中期に京都で誕生した伝統的な遊び）

遠山記念館公式サイト



一度出品したら、一度参加したら、楽しくてやめられずいい！ワクワクが止まりません！

「ファムスフェスティバル2026」ご報告

アートでつながる作品展「ファムスフェスティバル」は今年3回目を迎えました。埼玉県立近代美術館の一般展示室で行われる年に一度のアートのお祭で（ファムス通信51号参照）、油彩、水彩、版画、彫刻、写真、書、工芸と、ジャンルはさまざま。今回は41名の会員の力作が展示されました。縦横1mを超える大作からハガキ大の小品まで、個性的な作品ぞろいで、創る楽しさが伝わってくる展示でした。

ワークショップも大人気。「ワークショップが楽しみで初日に来ました」と、お子さまと来場いただいたお母様。学校帰りに来てくれた高校生。出来上がった作品と一緒に記念撮影も。中国からのご一家、アメリカ人の父子、通りがかりの方も参加して、大人も子どもも夢中です。ワークショップの今年のテーマは「星にねがいをつなげる」でした。形も色もとりどりの星に願いを込めて空に輝かせました。カラーペンや消しゴムのハンコを組み合わせ、チョキチョキ、ぬりぬり、ペタペタ、作りはじめると次々にアイデアが出てくるみたい…。さっきまで知らない人同士と一緒に制作し、協力し合ってお喋りしながら楽しんでいました。

最終日は「交流会」です。出品作家の方々が、ご自身の作品の解説をします。制作過程や思い、発想や背景など多岐にわたる質問をきっかけにその場にいる誰でも自由に発言し、楽しい交流が生まれました。制作秘話に驚いたり、感心したりの3時間でした。来年も、第4回「ファムスフェスティバル」を2月に開催予定です。お楽しみに！

◆邸宅・庭園のお掃除や管理はどうされていますか

畳の総数250枚、傷んだら順次替えます。部屋数23、1階の廊下の総延長100m、お掃除の方に毎日掃き掃除拭き掃除、窓ふきをしていただいています。雨戸の数170枚、熟達した常駐の管理人さんご夫婦が30分で毎朝夕開け閉めします！庭園の手入れは定期的に植木屋さんに頼み、草むしりや落葉集めはシルバー人材センターの方にお願いしています。

◆邸宅の見どころ・押しポイントはどこでしょう

豪農風・書院造り・数寄屋造りの3つの建築様式や内部の様々な意匠はもちろん、実用性・機能性も押しポイントです。たとえば滴が落ちないよう唐傘（からかさ）天井にした浴室、シャワー、水洗トイレなどの給水給湯設備や浄化槽排水処理は、昭和10年当時、最先端の住宅設備でした。しかも川島町はまだ水道がなく、水脈を探して汲み上げて自家給水し、ボイラーも設置しました。また中棟の畳廊下に連なる硝子戸は、アメリカから輸入した歪みがなく面取りしたガラスを使っています。戦時中は空襲に備えて全て外し保管していたという逸話もあるほどです。

中棟入側廊下
（アメリカ製の硝子戸は歪みなく畳廊下を映す）

◆TVドラマや婦人雑誌のロケにも使われるほど好環境、将来はどのように展開していきたいですか

七五三や成人式、卒業の記念撮影でいらっしゃる方もいます。“映える”箇所が多いし、駐車場もあります。結婚式などの商業ベースは別として、入館料だけで写真が撮れるのは売りかと思います。課題は当初の形を存続させるための維持・保存で、文化財としての伝統的な技術を駆使して守っていくことです。交通の不便な所にあるので、魅力ある企画をしたり、広報活動に力を入れたり、多くの方々に足を運んで楽しんでいただけたらと思っています。

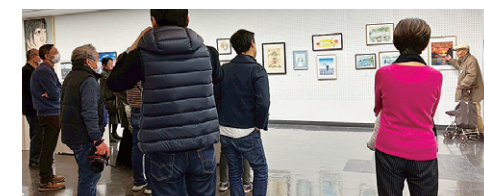
*「ファムスフェスティバル2026」は埼玉県立近代美術館地下、一般展示室4で2026年2月10日〜15日まで開催されました。



展示風景



ワークショップの様子



交流会の様子